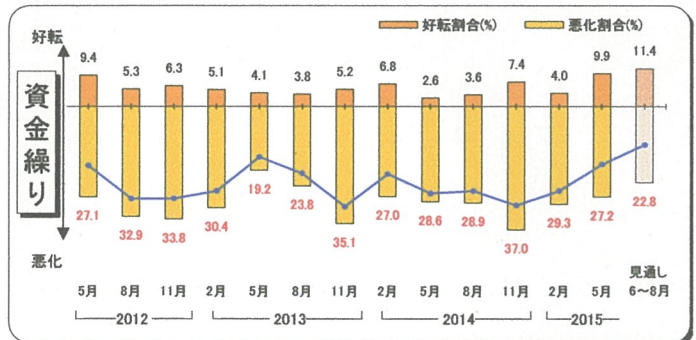
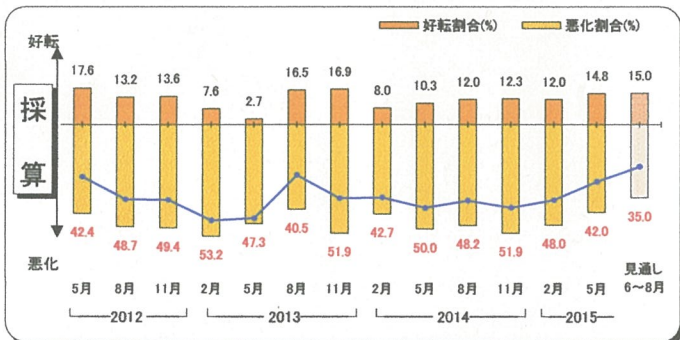
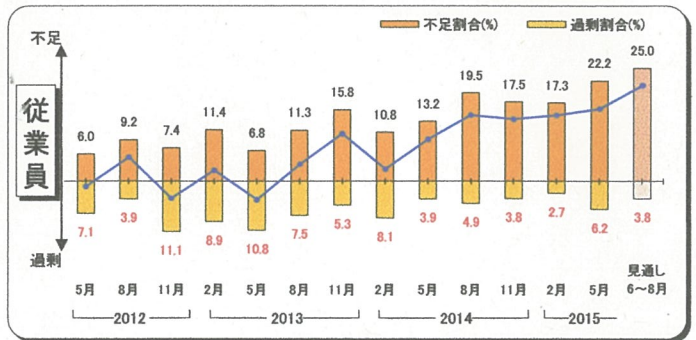
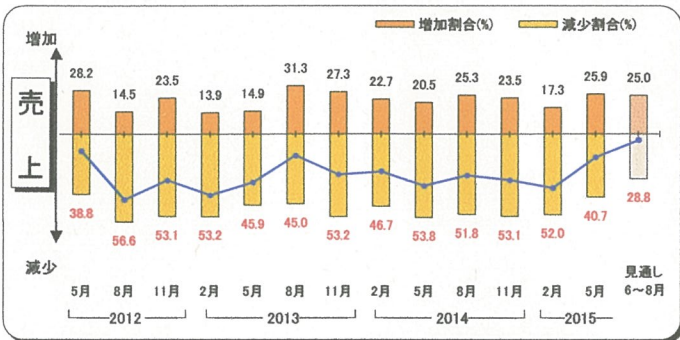
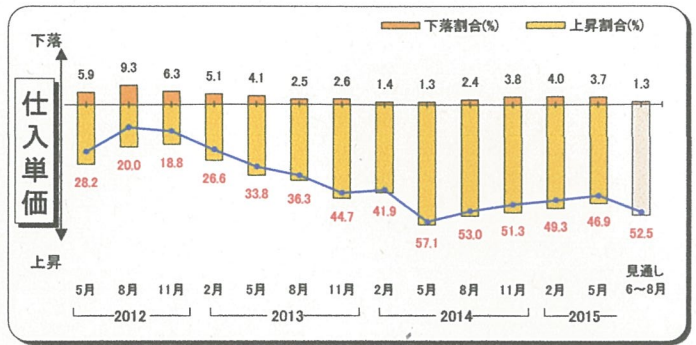
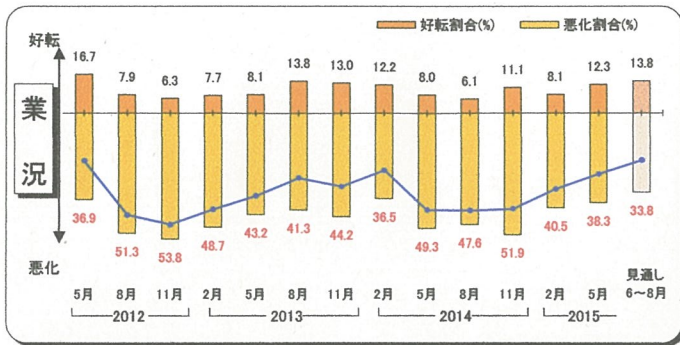


# 【小売業】①



## 【小売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

男子服小売業	今のところ景気が良くなってきたという実感はまだありませんが、夏頃から少しずつ上向いてくれることを期待しています。
靴小売業	消費税増税以降、売上高に影響がでている。
靴小売業	9,000名以上の足の計測から見えたことは、膝痛、腰痛、座前神経痛等の方は正しい靴選びと食生活習慣とウォーキングが大切です。多数の方が驚きと感動でお帰りになられます。
食肉小売業	4月より社員・パート賃金値上げしました。個人・業務用ともに売れ行きが悪い。仕入価格は高値安定してしまった。
料理品小売業	今は健康で毎日働いてはいるが、これから先のことを考えると、せめて従業員（パート）を増やしたいところですが、先行きの売上を考えると不安です。仕入も価格が下がるものはひとつもなく、上がる一方です。売上はやりようによっては、まだまだ伸ばせる要素は有るのですが、現状、カツカツの人員でやっているので営業をするにも不安です。人員を増やしてその人件費をまかなえるだけの売上が見込めるものなのか…不安要素がいっぱい、というところが現実です。
加工食品加工業	主力商品の水産物の原材料が高騰している影響で利益を圧迫している。
自動車部分品・附属品小売業	売上収益は前年の消費増税の反動減から比較し大幅に好転はしているが、前年度比ではほぼ横ばいの状況である。まだ景気が好転しているとは言える状況ではない。
電気機械器具小売業	家電業界の景況是最悪であり、政府やマスコミの情報は誤りが多い。
医薬品小売業	全体的に見て景気は以前より上向いていると思います。株価をみても2万円程に上昇したことも1つの要因です。但し政府の諸政策はいずれも大企業が恩恵を被るものであり、中小企業までは当分無理の様な気がします。あらゆる業種に人手不足が深刻な状況です。早くこの問題に国は率先して取り組んでもらいたいです。
医薬品小売業	いつも景気の悪い見通しばかりで申し訳ありませんが、業界は構造的に悪化傾向としか考えようがありません。当分続くと思います。
燃料小売業	昨年度後半に大きく下がったエネルギー部門の仕入価格も底打ちし、原油もLPGも小刻みに上昇し、円安の定着で本年度は、緩やかに仕入は上がっていくと思料する。過当競争下の転嫁値上げは難航必須で、人手不足と労務費の上昇も加わり、経営圧迫の要素の多い年になりそうだ。
書籍・雑誌小売業	見積り依頼が大きく増えたが、注文に至らず。忙しさの割に売上、採算が見合わない。過剰なまでの見積り合わせに困惑している。
紙・文房具小売業	能力のある社員の採用が重要。
スポーツ用品小売業	個人消費が弱くなかなか業績が上がってきません。売上の厳しい大手の価格競争は果てしなく、仲間も脱落しています。新しいビジネスモデルをととも思いますが、なかなか見つかりません。同業間でも体力の続くうちはといった声が多く、好景気感ほとんどない業界です。
ホームセンター	最悪だった昨年からの好転に期待。